

## 情報公開用文書（附属病院で実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2020 年 7 月 7 日作成 第 1.0 版

研究課題名	当院における子宮頸がん再発中リスク群に対する術後補助療法の調査および検討
研究の対象	2010 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日までに横浜市立大学附属病院で子宮頸がんⅠB～Ⅱ期の診断に対し、準広汎子宮全摘術もしくは広汎子宮全摘術を施行した患者さんのうち、残存腫瘍を認めない完全手術であり、術後再発中リスク群と判断された症例。
研究目的 ・方法	子宮頸がんの手術の後に、追加治療（術後補助療法）として放射線治療や化学療法（抗がん剤治療）を行った患者さんと、術後補助療法を行わずに経過観察している患者さんの診療情報を後方視的に収集、解析することによって、術後補助療法の有用性や安全性を検討します。
研究期間	西暦 2020 年 10 月 6 日 ～ 西暦 2021 年 12 月 31 日
研究に用いる 試料・情報 の種類	1) 患者基本情報：年齢、臨床進行期、組織型、既往歴、合併症 2) 血液検査：末血、生化学検査、腫瘍マーカー（CA125, CA19-9, CEA, SCC） 3) 治療内容：術式、手術日、術後療法の種類、化学療法のレジメン・開始日・サイクル数、放射線治療の照射量・開始日・終了日 4) 病理学的所見：手術検体における病変の進行度、脈管侵襲、間質浸潤など 5) 画像所見：CT/MRI による術前評価・補助療法後の評価、再発部位 6) 有害事象：G3/4 の重篤な有害事象、晩期合併症の有無 7) 予後：再発診断日、死亡日または生存確認日、死因
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話または FAX でお申出下さい。</p> <p>また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9 横浜市立大学附属病院 産婦人科（研究責任者）今井 雄一（研究事務局）紙谷 菜津子 電話番号：045-787-2800（代表） FAX：045-780-3536</p>	